

日本英語教育史研究会設立趣意書

我が国の近代化に重要な役割を果たした英学を研究するために日本英学史学会が設立されて 20 年経過しました。この間会員諸氏の不断の努力により、文学・翻訳・科学・教育・宗教・政治経済・人物など英学史全般にわたり、史資料の収集および研究が重ねられ、相当の業績が積み重ねられてきました。そして英学史学は独立の研究分野として確立し、いまやその研究業績は他の分野の期待するところとなっています。

ところでひとつの学問分野が一定の水準に達すれば、その学問は必然的にいくつかの専門分野に細分されます。英学史研究のうち殊に英語教育の歴史に関心をもつ我々が、同学の士を集めて、「日本英語教育史研究会」を設けようとする理由もここにあります。

幸いにもこれまでの英学史研究の成果のなかに数多くの英語教育史関係の業績があります。我々はこれらを土台として英語教育の史的研究を進め、英語教育に関する認識を深めるとともに、英語教育の発展に寄与しようとするものです。

英語教育史に関心をもつ方々の参加を希望します。

1984 年 12 月 8 日

発起人一同

発起人

五十嵐二郎	井田 好治	伊村 元道	大沢 茂	大村 喜吉
勝浦 吉雄	川澄 哲夫	木下 法也	黒沢 順三	佐々木達夫
佐々木満子	佐渡谷紀代子	島岡 丘	関根 応之	高梨 健吉
高山誠太郎	武田 良一	竹中 龍範	田辺 洋二	千葉 剛
出来 成訓	寺田 芳徳	東後 勝明	仲 新	中川 良和
中田 賢次	庭野 吉弘	橋本 宏	速川 和男	藤原 稔
古川 弘之	星 新蔵	松村 幹男	南 精一	茂住 実男
森川 降司	茂呂 公一	山口喜佐夫	山中 猛士	山本 勇三
行広 泰三	吉田一彦	渡辺 慎悟	渡辺 益好	